



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年11月2日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社

上場取引所 大

コード番号 2222 URL <http://www.okashinet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部部长 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,058	△1.2	474	△17.3	457	△23.7	220	△17.6
23年3月期第2四半期	9,169	△0.5	573	△27.6	599	△26.0	267	△38.7

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 237百万円 (△4.8%) 23年3月期第2四半期 249百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	21.25	—
23年3月期第2四半期	25.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	12,825	5,752	44.9	554.53
23年3月期	12,316	5,774	46.9	556.61

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 5,752百万円 23年3月期 5,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,850	2.3	1,320	5.2	1,300	△1.1	670	15.5	64.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	10,373,840 株	23年3月期	10,373,840 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	277 株	23年3月期	229 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	10,373,574 株	23年3月期2Q	10,373,639 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、本年3月11日に発生いたしました東日本大震災の影響による自粛ムードは和らぎ、消費マインドは徐々に回復の兆しが見られるものの、景気先行きの不透明感が増す状況で推移いたしております。

このような環境のもと、当社グループは、経営理念の具現化に向け『熱狂的ファン創り』の徹底実践と強固な経営基盤の構築に向け『新成長エンジン創り』をテーマに、具体的対策に落とし込み、刻々変化する市場動向と顧客ニーズを的確に捉えながら、全従業員の総力を結集し、積極果断に事業施策を推進いたしました。

業績面は、期初であります4月が震災の影響を大きく受け、大幅な減収・減益を余儀なくされ、5月以降は、高速道路料金の「休日上限千円」の割引制度の廃止や夏場の天候不順のマイナス影響があった一方、自粛ムードの緩和と積極的な事業施策の遂行により、概ね前年同期水準で推移いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、9,058百万円（前年同期比1.2%減）営業利益は474百万円（前年同期比17.3%減）、経常利益は457百万円（前年同期比23.7%減）、四半期純利益は220百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、認知度の更なる向上と強固なブランドの構築に向け、有名タレントを起用したテレビCMの放映やテレビ番組との共同開発企画などプロモーション展開を推進し、また、本年5月に小樽市で6店舗目となる大型新店舗「パトス」のオープン、7月にはリニューアルされた新千歳空港での初の直営店舗の出店、商品面では新商品「シンデレラ デ フロマージュ」、「宇治抹茶ドゥーブルフロマージュ」の投入による通販企画の充実など様々な対策強化に取り組みました。その結果、売上高は3,169百万円（前年同期比0.7%減）となり前年同期水準で推移した一方、営業利益は新規出店の初期費用や販促費用が増加したことなどにより126百万円（前年同期比47.0%減）となりました。

なお、本年9月に札幌三越店及びアマイワナ店を退店いたしました。

② 寿製菓

寿製菓は、関東圏の代理店向け売上が低迷した一方、地元山陰地区では「白ウサギフィナンシェ」がPR展開により続伸し、また、グループ向け売上が堅調に推移したことにより、概ね回復基調で推移いたしました。その結果、売上高は3,328百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は212百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

③ 販売子会社（11社）

販売子会社（11社）は、交通機関市場を中心に販売強化に努め、名古屋地区での新商品「小倉トーストラングドシャ」、関西地区でのコンディトライ神戸の生ギフト展開、宮崎地区での「宮崎マンゴーラングドシャ」などが堅調に推移した結果、売上高は2,075百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は95百万円（前年同期比49.7%増）となりました。

④ 九十九島グループ

九十九島グループは、大手テーマパーク向け売上の落ち込み、ハウステンボス地区の直営店舗「グランマーケット店」の本年5月退店に伴う売上減少要因があった一方、主力商品のPR展開や新商品「博多創菓子 はかたんもん」の拡販などに努めた結果、売上高は1,366百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益28百万円（前年同期比34.5%減）となりました。

⑤ 但馬寿

但馬寿は、震災の影響による期初の売上高の落ち込みや黒豆茶通販が低調に推移した結果、売上高は508百万円（前年同期比7.2%減）、営業利益は30百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

⑥ つきじちとせ

つきじちとせは、早期の業績回復を目指すべく、本年6月に「東京ミルクチーズ工場」及び「コートクールシユクレ」の2つの洋菓子系ブランドを新たに立上げ、羽田空港催事の強化に努めました。更に、本年8月には新宿ルミネに出店し、自家消費需要への展開にも取り組みました。その結果、売上高は372百万円（前年同期比13.3%増）、営業損失は7百万円（前年同期は営業損失26百万円）となりました。

⑦ その他

その他は、損害保険代理業が含まれております。売上高は2百万円（前年同期比14.3%減）となり、営業利益は0百万円（前年同期比62.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ509百万円増加し、12,825百万円となりました。流動資産は5,129百万円となり、247百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少(34百万円)があった一方、季節変動要因による受取手形及び売掛金の増加(198百万円)、商品及び製品の増加(52百万円)などによるものです。固定資産は7,696百万円となり、261百万円増加いたしました。主な要因は有形固定資産において、減価償却費計上による減少(255百万円)があった一方、新店舗出店などの設備投資(487百万円)を実施したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ530百万円増加し7,073百万円となりました。流動負債は4,632百万円となり72百万円増加いたしました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加(104百万円)、短期借入金の増加(100百万円)による増加要因と1年内返済予定の長期借入金の減少(145百万円)の減少要因によるものです。固定負債は2,440百万円となり458百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金の増加(480百万円)によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、5,752百万円となりました。主な要因は、四半期純利益(220百万円)の計上による増加、配当金の支払い(259百万円)による減少などです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.0ポイント減少し、44.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)残高は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、1,492百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、375百万円(前年同期比170.7%増)となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益424百万円、減価償却費の計上283百万円の計上があった一方、売上債権の増加264百万円、法人税等の支払200百万円などの減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、566百万円(前年同期比24.4%増)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出499百万円、その他の支出額35百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、156百万円(前年同期は151百万円の資金使用)となりました。

主な要因は、短期借入金の純増額100百万円及び長期借入れによる収入600百万円の増加要因があった一方、長期借入金の返済による支出265百万円及び配当金の支払259百万円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に関しましては、当第2四半期連結累計期間の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、平成23年5月12日付「平成23年3月期決算短信」にて発表いたしました平成24年3月期通期業績予想を修正いたしております。

消費動向は、依然として厳しい状況が続くものと予想されます。当社グループは、強固な経営基盤の構築を図るため、引き続き「新成長エンジン創り」に注力し、また、秋シーズン、クリスマス・バレンタインなどのイベント商戦の更なる対策強化に取り組み、修正予想の達成を目指してまいります。

詳細は、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,067,291	2,032,644
受取手形及び売掛金	1,718,193	1,917,048
商品及び製品	434,018	486,542
仕掛品	23,784	24,922
原材料及び貯蔵品	311,531	314,082
その他	342,959	378,819
貸倒引当金	△15,957	△24,293
流動資産合計	4,881,819	5,129,764
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,008,182	3,207,446
機械装置及び運搬具（純額）	505,174	498,705
工具、器具及び備品（純額）	172,015	222,087
土地	2,571,639	2,571,639
リース資産（純額）	67,687	61,269
建設仮勘定	5,886	—
有形固定資産合計	6,330,583	6,561,146
無形固定資産	122,646	113,002
投資その他の資産		
その他	1,033,736	1,104,710
貸倒引当金	△52,192	△82,828
投資その他の資産合計	981,544	1,021,882
固定資産合計	7,434,773	7,696,030
資産合計	12,316,592	12,825,794
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	609,372	714,073
短期借入金	2,100,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	685,898	540,138
未払法人税等	202,957	227,332
賞与引当金	358,631	339,726
その他	603,609	611,508
流動負債合計	4,560,467	4,632,777
固定負債		
長期借入金	913,735	1,394,131
退職給付引当金	717,011	734,320
役員退職慰労引当金	120,638	88,574
その他	230,736	223,519
固定負債合計	1,982,120	2,440,544
負債合計	6,542,587	7,073,321

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	3,243,333	3,204,404
自己株式	△239	△258
株主資本合計	5,784,055	5,745,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,050	7,366
その他の包括利益累計額合計	△10,050	7,366
純資産合計	5,774,005	5,752,473
負債純資産合計	12,316,592	12,825,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,169,685	9,058,671
売上原価	4,741,797	4,665,993
売上総利益	4,427,888	4,392,678
販売費及び一般管理費	3,853,948	3,917,745
営業利益	573,940	474,933
営業外収益		
受取利息	491	258
受取配当金	1,686	1,695
受取地代家賃	39,909	9,865
その他	12,130	18,123
営業外収益合計	54,216	29,941
営業外費用		
支払利息	26,772	23,086
貸倒引当金繰入額	—	20,225
その他	1,616	4,056
営業外費用合計	28,388	47,367
経常利益	599,768	457,507
特別損失		
固定資産売却損	36	—
固定資産除却損	4,289	2,139
投資有価証券評価損	—	30,458
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,357	—
特別損失合計	53,682	32,597
税金等調整前四半期純利益	546,086	424,910
法人税等	278,480	204,499
少数株主損益調整前四半期純利益	267,606	220,411
四半期純利益	267,606	220,411

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	267,606	220,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,773	17,416
その他の包括利益合計	△17,773	17,416
四半期包括利益	249,833	237,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249,833	237,827

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	546,086	424,910
減価償却費	256,216	283,557
投資有価証券評価損益(△は益)	—	30,458
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,357	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,562	38,972
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,550	△18,905
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,580	17,309
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,333	△32,064
受取利息及び受取配当金	△2,177	△1,953
支払利息	26,772	23,086
固定資産売却損益(△は益)	36	—
固定資産除却損	4,289	2,139
売上債権の増減額(△は増加)	△87,589	△264,550
たな卸資産の増減額(△は増加)	△57,736	△56,213
仕入債務の増減額(△は減少)	31,215	104,701
その他	△148,641	44,247
小計	655,853	595,694
利息及び配当金の受取額	1,909	1,806
利息の支払額	△27,240	△21,369
法人税等の支払額	△491,773	△200,497
営業活動によるキャッシュ・フロー	138,749	375,634
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,700	△600
定期預金の払戻による収入	7,400	1,200
投資有価証券の取得による支出	△603	△603
有形固定資産の取得による支出	△436,415	△499,556
有形固定資産の売却による収入	29	—
無形固定資産の取得による支出	△10,437	△32,761
貸付けによる支出	△2,200	—
貸付金の回収による収入	1,150	1,300
その他	△12,399	△35,248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△455,175	△566,268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	100,000
長期借入れによる収入	600,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△674,554	△265,364
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10,223	△11,190
建設協力金の返済による支出	△7,500	—
自己株式の取得による支出	△32	△19
配当金の支払額	△259,341	△259,340
その他	—	△7,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151,650	156,587
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△468,076	△34,047
現金及び現金同等物の期首残高	1,958,822	1,526,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,490,746	1,492,244

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社 (11社)	九十九島 グループ	但馬寿	つきじ ちとせ	計
売上高							
外部顧客への売上高	2,965,360	2,394,836	2,010,723	1,308,169	176,923	310,833	9,166,844
セグメント間の内部 売上高又は振替高	227,069	944,896	309	128,283	371,324	18,339	1,690,220
計	3,192,429	3,339,732	2,011,032	1,436,452	548,247	329,172	10,857,064
セグメント利益 (△は損失)	239,459	199,609	63,539	43,446	46,227	△26,257	566,023

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	2,841	9,169,685	—	9,169,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,690,220	△1,690,220	—
計	2,841	10,859,905	△1,690,220	9,169,685
セグメント利益 (△は損失)	708	566,731	7,209	573,940

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額7,209千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額203,742千円、セグメント間取引消去額5,741千円、たな卸資産の調整額△6,585千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△195,689千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社 (11社)	九十九島 グループ	但馬寿	つきじ ちとせ	計
売上高							
外部顧客への売上高	2,952,524	2,311,440	2,075,151	1,211,820	164,818	340,484	9,056,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	217,252	1,017,319	260	154,799	343,763	32,364	1,765,757
計	3,169,776	3,328,759	2,075,411	1,366,619	508,581	372,848	10,821,994
セグメント利益 (△は損失)	126,831	212,227	95,105	28,442	30,354	△7,790	485,169

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	2,434	9,058,671	—	9,058,671
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,765,757	△1,765,757	—
計	2,434	10,824,428	△1,765,757	9,058,671
セグメント利益 (△は損失)	264	485,433	△10,500	474,933

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額△10,500千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額231,420千円、セグメント間取引消去額5,870千円、たな卸資産の調整額△4,528千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△243,262千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。